

あれこれファレンス



ミニ図書館だより【なんでも質問箱】

No. 209

平成28年1月1日
熊本県立図書館発行

“レファレンスサービス”ってなに？

図書館で所蔵しているたくさんの資料を活用して、皆さんが調査したい内容をより早く正確に調べられるようお手伝いするサービスのことです。

この「あれこれファレンス」では、過去に受けたさまざまなレファレンスの中から、いくつかの興味深い事例をピックアップして紹介します。へえ～こんな質問も図書館で分かるのか！と、楽しめること間違いなしです。

Q. おたずね

結婚して最初の年末に夫の家から妻の家へ、ブリを届けるという習慣を初めて知りました。由来などを知りたいです。



A. こたえ

熊本では「ヨメゴブリ（嫁御鯛）」とも呼ばれ、主に北部九州の各地に今も残る習慣です。昔は結婚後の初正月前の大晦日に、新郎の家（親）は新婦の家（親）へブリ1匹と2升餅の鏡餅を届ける習慣があったそうです。さらに地域によっては、ブリをさばいた後にその半身を新郎の家へお返し（半返し）する習慣も見られました。

これは新婦に対して「良い嫁御ぶり（鯛）だ」という言葉の意味をかけています。また、季節的にも寒ブリは値段が高く、このような上等なものをいただけるということで、娘は婚家で大切にされているのだと、新婦の親も安心できるのだそうです。また、新郎の家の威勢や羽振りが良いところを示すためとも言われています。

現代ではこのような習慣も簡略化されて、ブリではなく別の品物を贈る場合もあるようです。また、そもそもこの習慣をご存知ない方も多いようで、年末に突然届いた大きなブリを目の前にして、意味が分からずとにかく驚いたという話もあります。しかし、地域や世代によっては大切な結婚や人生の節目の行事ととらえる方もいらっしゃいますので、このような昔からの習慣は大切にしていきたいものです。

〈参考文献〉

『九州の祝事』 坂本 経昌／著 （明玄書房） C385/サ 【第2閲覧室】
『新・熊本の冠婚葬祭』（熊本日日新聞社） C385/ク 【第2閲覧室】



おといあわせ 熊本県立図書館

〒862-8612 熊本市中央区出水2-5-1

TEL:096-384-5000 FAX:096-385-4212 Email:toshokan@pref.kumamoto.lg.jp